

青葉区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

鶴見川水系河川：鶴見川、早淵川、恩田川、黒須田川、奈良川、布川

この洪水ハザードマップは、鶴見川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。



洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの面の洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(2日間で792mm)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。

【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。^{※2}

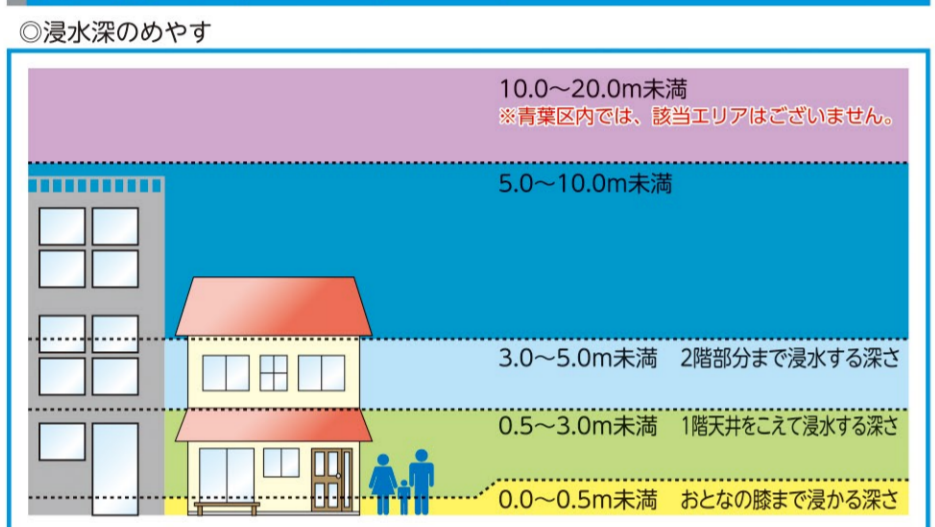
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していませんので、着色されていない区域でも浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

- ※1 国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所ホームページ
(https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index070.html)
- ※2 横浜地方気象台ホームページ
(<https://www.jma-net.go.jp/yokohama/>)



出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024 号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
河川	横浜市道路局 河川図
浸水想定区域	鶴見川水系浸水想定区域図
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域(令和4年2月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域(令和4年2月現在)

凡例(Explanatory Notes)



◎避難する際に注意する箇所

	家屋倒壊等氾濫想定区域	堤防決壊等に伴う氾濫や河川崩壊により家屋が倒壊・流出するおそれがあり、屋内での避難ではなく、早期の立ち退き避難が必要な区域。*家屋の構造、強度特性や崖岸対策等の違いにより、この区域の境界はあくまでも目安です。
	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある箇所(進入すると危険なため、冠水の進行は控えてください)。
	土砂災害警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。
	土砂災害特別警戒区域	急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

	一級河川(国土交通省管理区域) 浸水想定区域作成対象河川(鶴見川、天上川、早淵川、鳥山川)		河川法準用河川(横浜市管理)
	一級河川(神奈川県管理指定区域) 浸水想定区域作成対象河川(鶴見川、早淵川、大黒川、恩田川)		その他の河川(横浜市管理) ※市街化区域のみ
	一級河川(横浜市管理区域) 浸水想定区域作成対象河川(鳥山川、砂田川、梅田川)		

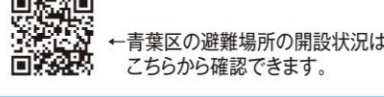
	都境界		高速道路・有料道路
	市区界		主要道路
	町丁目界		避難場所
	JR線・駅		雨量観測所
	私鉄線・駅		水位観測所
	市営地下鉄線・駅		河川監視カメラ

風水害時における避難場所について

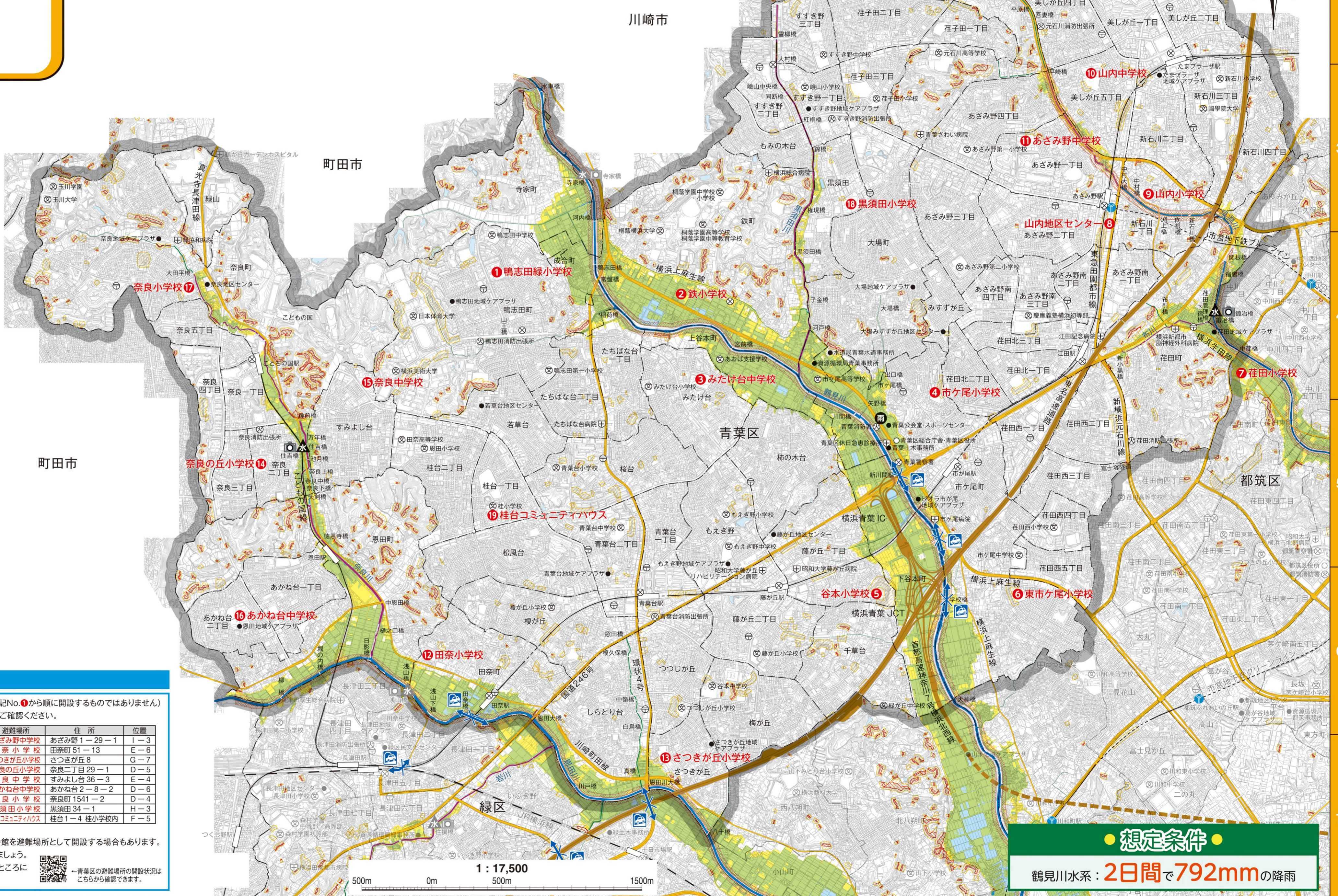
◆青葉区では下記の避難場所を候補とし、災害の規模や状況に応じて順次開設します。(下記No.◎から順に開設するものではありません) 避難する際は、必ず市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

条件等	No.	避難場所	住所	位置	No.	避難場所	住所	位置
風水害時に開設される避難場所(候補)	◎1	鶴志田緑小学校	鶴志田町 532	F-4	◎1	あざみ野中学校	あざみ野 1-29-1	I-3
	◎2	鉄小学校	鉄町 427	G-4	◎2	田奈小学校	田奈町 51-13	E-6
	◎3	みたけ台中学校	みたけ台 30	G-4	◎3	さつきが丘小学校	さつきが丘 8	G-7
	◎4	市ケ尾小学校	市ケ尾町 1632-1	H-4	◎4	奈良の丘小学校	奈良 1-29-1	D-5
	◎5	谷本小学校	藤が丘 1-55-10	H-6	◎5	奈良中学校	すみよし台 36-3	E-4
	◎6	東市ケ尾小学校	市ケ尾町 519	I-6	◎6	あかね台中学校	あかね台 2-8-2	D-6
	◎7	在田小学校(都筑区)	都筑区在田町 694	J-4	◎7	奈良小学校	奈良町 1541-2	D-4
	◎8	山内地区センター	あざみ野 2-3-2	I-3	◎8	黒須田小学校	黒須田 34-1	H-3
	◎9	山内小学校	新石川 1-20-1	I-3	◎9	桂台コミュニティハウス	桂台 1-4 小学校内	F-5
	◎10	山内中学校	美しが丘 5-4	I-3				

◆災害時には、上記の避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合があります。
 ◆2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。
 ◆すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところへ避難してください。



一青葉区の避難場所の開設状況はこちらから確認できます。



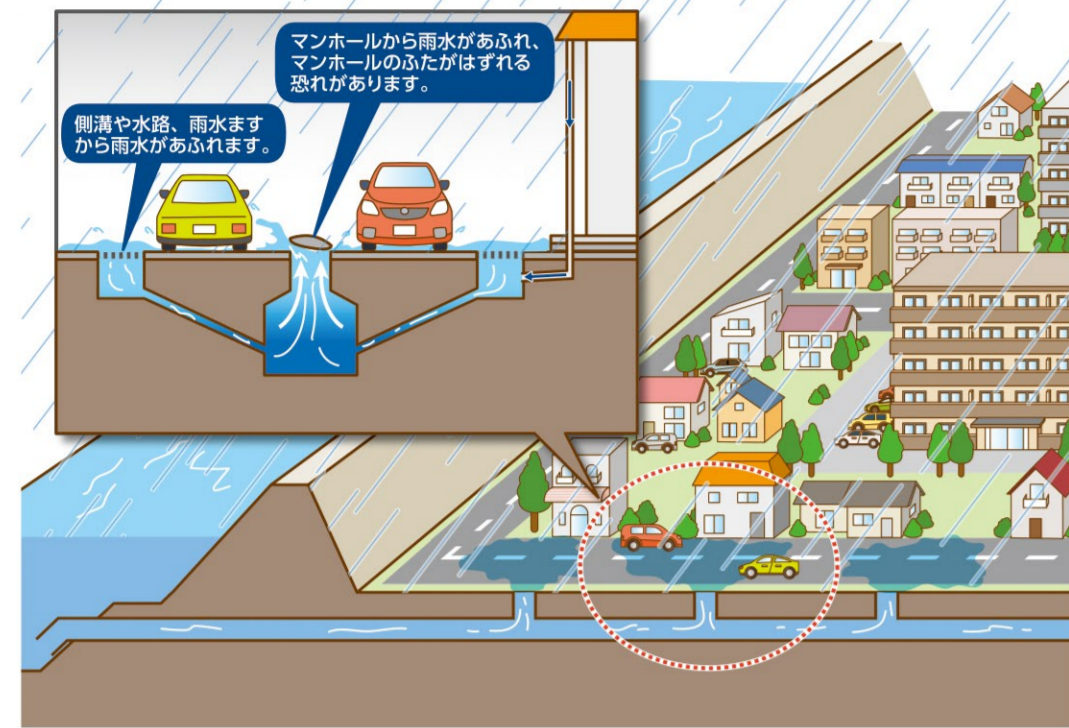
1:17,500
500m 0m 500m 1500m

◆想定条件◆
 鶴見川水系：2日間で792mmの降雨

青葉区内水ハザードマップ

内水浸水想定区域(想定最大規模)

この内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、浸水が想定される区域の皆さんに日頃からの備えや対策をとっていただくために作成したものです。
 ※河川周辺の浸水想定については、必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。



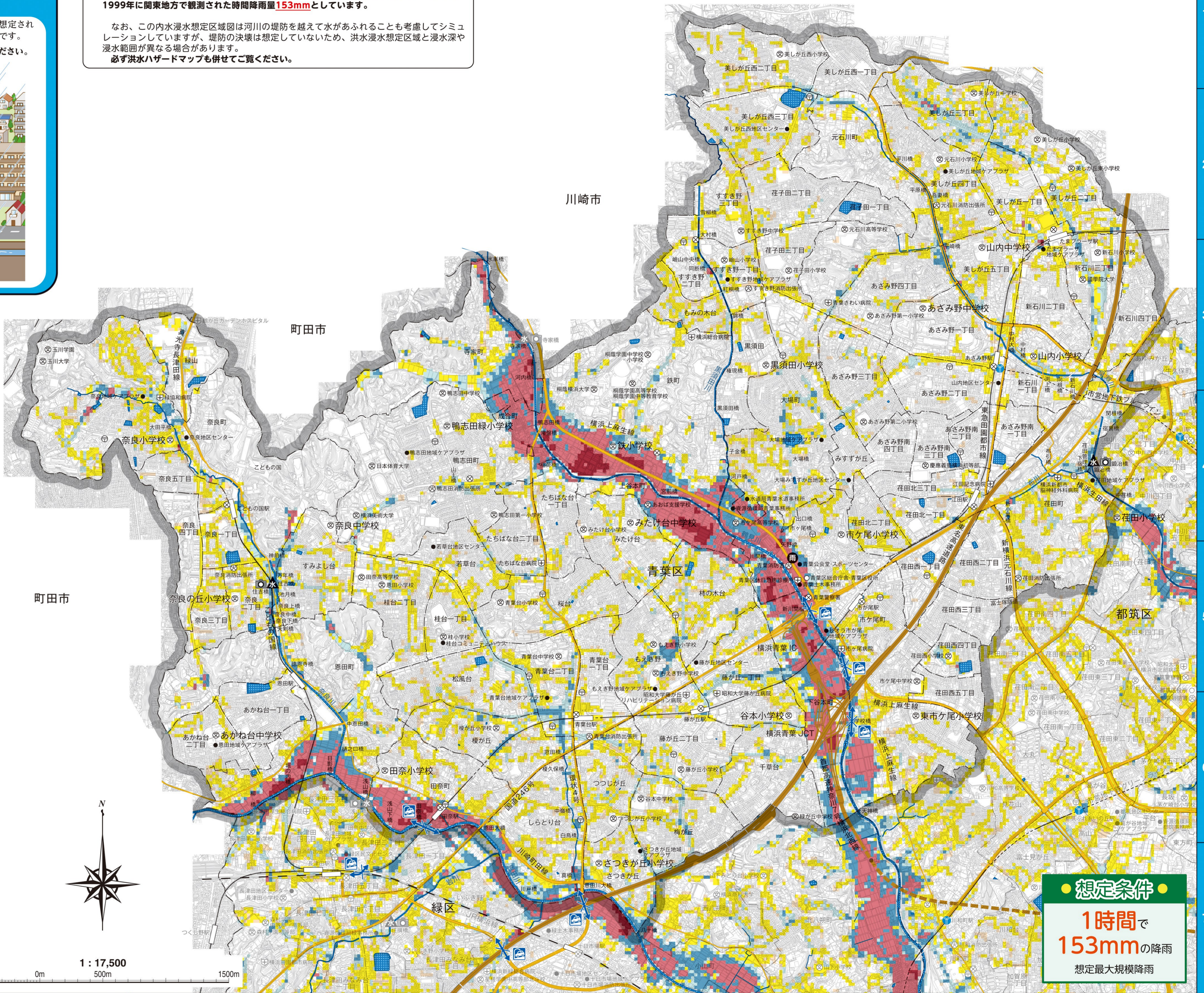
※内水氾濫の浸水想定区域図は、平成30年度末の河川や下水道施設等の整備状況および地盤の高さを反映して、横浜市環境創造局が作成したものです。
 雨の降り方によっては、浸水区域や浸水深がこの区域と異なることがあります。

内水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

この内水浸水想定区域は、想定最大規模の降雨によって、下水道や水路、道路側溝などから水があふれる範囲や深さをシミュレーションしたものです。想定最大規模降雨とは、各地方において過去に観測された最大の降雨量を基本に設定することになっており横浜市では、1999年に関東地方で観測された時間降雨量**153mm**としています。

なお、この内水浸水想定区域図は河川の堤防を越えて水があふれることも考慮してシミュレーションしていますが、堤防の決壊は想定していないため、洪水浸水想定区域と浸水深や浸水範囲が異なる場合があります。
必ず洪水ハザードマップも併せてご覧ください。

出典データ	
背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
内水浸水想定区域	横浜市環境創造局 青葉区内水浸水想定区域(令和3年4月)



凡例 (Explanatory Notes)

◎浸水深のめやす

	2.0m以上 1階の軒下以上
	1.0~2.0m 床上浸水相当 1階の軒下まで
	50cm~1.0m 床上浸水相当 大人の膝まで
	20~50cm 床下浸水相当
	2~20cm 道路冠水相当
	2cm未満 道路冠水相当

※洪水ハザードマップ・高潮ハザードマップの浸水深とは、浸水間接差が異なります。
 ◎避難する際に注意する箇所

	アンダーパス	大雨時に雨水が急激に集中し、冠水して安全な通行に支障をきたすおそれがある場所(進入すると危険なため、冠水時の通行は控えてください。)
--	--------	--

	都県界		高速道路・有料道路
	市区界		主要道路
	町丁目界		雨量観測所
	JR線・駅		水位観測所
	私鉄線・駅		河川監視カメラ
	市営地下鉄線・駅		河川、遊水池

●想定条件●
1時間で
153mmの降雨
 想定最大規模降雨



1 : 17,500

